

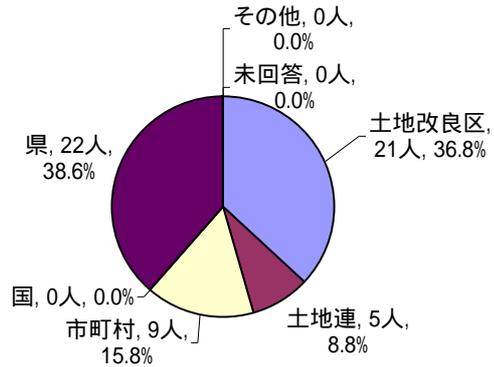
平成19年度農業水利研修会アンケート 集計表

研修参加人数85名 回答数57名 回答率67%

1 - 所属

所属		
種別	回答数	割合
1 土地改良区	21人	36.8%
2 土地連	5人	8.8%
3 市町村	9人	15.8%
4 国	0人	0.0%
5 県	22人	38.6%
6 その他	0人	0.0%
- 未回答	0人	0.0%
合計	57人	100.0%

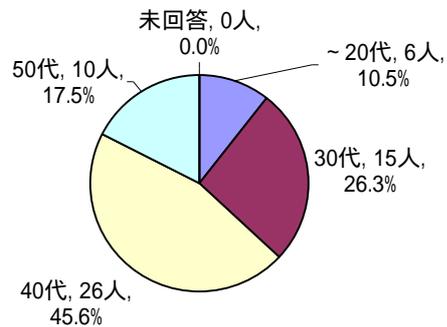
所属



1 - 年齢

年齢		
種別	回答数	%
1 ~20代	6人	10.5%
2 30代	15人	26.3%
3 40代	26人	45.6%
4 50代	10人	17.5%
- 未回答	0人	0.0%
合計	57人	100.0%

年齢



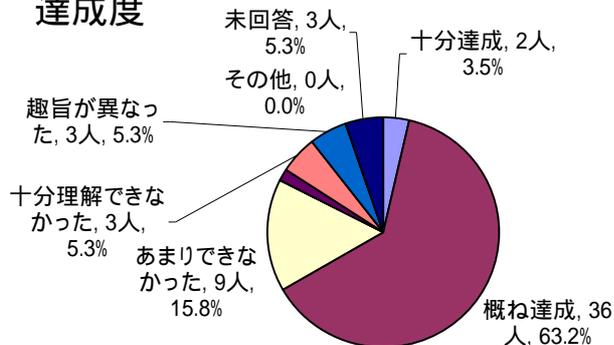
2 - 研修会へ参加した目的

・「水利権の知識向上のため」や「水利権(河川協議)業務に携わっているため」が多かった。そのほか「水利権協議の現状の話題を知りたかった」、「水利権協議などの今後の動向を知りたかった」などの参加目的があった。

2 - 研修会へ参加した目的の達成度

達成度		
種別	回答数	%
1 十分達成	2人	3.5%
2 概ね達成	36人	63.2%
3 あまりできなかった	9人	15.8%
4 できなかった	0人	0.0%
5 内容不十分	1人	1.8%
6 十分理解できなかった	3人	5.3%
7 趣旨が異なった	3人	5.3%
8 その他	0人	0.0%
- 未回答	3人	5.3%
合計	57人	100.0%

達成度



2 - 研修会で参考となった事項

・「水利権協議をめぐる最近の話題」、「河川事業の話題」、「環境用水に関する話題」、「地域用水のとらえ方」、「水利権の基本的事項の確認」、「黒沢尻用水・澄川用水の具体的な事例紹介」、「水利権許可権者と水利使用者との見解の違い」、「水利権更新時の水利権水量検討の注意事項」、「慣行水利権の歴史」など

2 - 今後取り上げて欲しい講習課題

・「水利権協議の具体的な事例や手法」、「環境用水に関する具体的内容」が非常に多かった。そのほか「旧堰の取り扱いや施設整備」、「慣行水利権のあり方、進め方」、「直まき水田に対応したかんがい期の延長」、「水利権更新のテクニック」、「水利ストックマネジメント」、「技術者育成のための現場研修会」、「水利権許可を与える側の実務研修」など